

平成22年7月6日(火) さぎの森小学校 参加者21名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(副市長、教育長、総合政策部長、教育総務部長)
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：参議院選挙中で各政党いろいろマニフェストを出している。政党によっては、議員の削減について身を削ってやっていこうというところもある。先般、市でも議員数の削減について議会でも議論されたが、市長の考えは。

市 長：議員定数の削減条例は否決され、請願は採択されました。議員時代は、私も削減すべきと思っていました。削減は財政的には有利になりますが、急激に少なくなってしまうと市民の声が届かなくなります。市長と議員は二元代表制でそれぞれ選挙で選ばれるので、市長の立場で議員を減らすということは言えません。議会自らが決めていくことだと考えます。

参加者：議員を減らすより、給料を減らすほうが良いのでは。
敬老祝い金について、70歳については減らしても良いと思う。市で支給するのでなく、自治会、老人会で支給する形が良いのではないか。

市 長：本市の議員報酬は全国的に見ても低いです。志がある人が議員になる時は、ある程度生活ができる金額が必要だと思います。
敬老祝い金は、私としてはやめたいと思います。今の財政状況ではある程度、大ナタを振るっていかねばなりません。ただし、予算を切るだけでなく、若い世代が住みやすい施策を行って税収を確保し、それによりお年寄りに対する施策も展開できると思っています。
敬老会の件については、その分を地域に配分するのも良いと思います。

参加者：本庁舎、大井の庁舎2つあるが、市長はどのように考えるか。

市 長：支所を廃止するというのではなく、市役所としての機能は、1つで良いと思います。

参加者：市長から見て、市役所の機能が1つで出来ると判断すれば、1つで良いと思う。合併後2つの施設が1つで良いと、市長、議会が判断すれば1つで

良いと思う。維持管理費などの費用を市民に示した上で提案してほしい。

市長：公共施設の適正配置計画について、7月12日からパブリックコメントを行います。その中で維持管理費なども示しているので、いろいろな意見をいただきたいと思います。

参加者：大井のプールを廃止してテニスコートを造る予定のようだが、上福岡のプールも使用されずもったいない。今後プールはどうなるのか。

市長：大井のプールについては、今年度解体します。一時期テニスコートを造る予定もありましたが、借地で権利が複雑です。市全体として、どうしても必要なものだけは土地を確保し、その他は返していく方針としています。今後、新しい施設を造る場合は市有地を活用します。今のところテニスコートを造る予定はありません。

上福岡のプールも地盤に問題があり、使用できない状況です。プールについては、小さい子供が水遊びをできる程度のものは欲しいと思います。

参加者：タウンミーティングのアンケートについては、必要性が無いということが前提となっているように思える。これまでの図書館、公民館は必要性があるから設置したものと思う。その施設の役割がどうなるかが重要であると考え、施設のあり方についてどのように考えているか。

市長：誤解を招いたことはお詫びします。一つひとつの施設について必要性が無いものは、一つもないと思います。合併して10万都市となり、他市に比べてこの小さな地域で、同じ規模のものが2つ必要なのか、移動手段を確保できれば良いのか。耐震補強や維持管理の費用が高額なことが前提にあるわけで、いらぬ施設ということではありません。

参加者：市単独で維持していただくだけでなく、近隣市と協力して特色を出しながら、やる方法もあるのでは。

市長：維持の方法としては、他市との連携やNPOなどに協力してもらうこともあり得ます。例えば、図書館を他市との連携で広域的に運営を行うなども考えられるので、提案を生かしていきたいと思います。

参加者：東台小学校に入学できた児童は、うらやましいと思う。安心・安全優先で耐震工事も確かに必要だが、さぎの森小学校など外壁もかなり汚い。子どもたちには良い環境で勉強してほしい。平等に良い環境整備を図ってほし

い。

市長：これまでも、その話は良く出ました。他でも学校の外壁がボロボロの所もあります。早くやってあげたいが、見た目のきれいさより今は安全を優先しています。また、大人が使う施設より、子どもの施設を優先しており、その後に外壁などをやっていきたいと思います。

参加者：工務店で1期でも赤字を出さずにやってきた。今年4月から公共工事に参加させてもらうことになった。入札の際、建築工事には制限はないが、土木工事は、過去5年間の実績が求められている。そうすると1歩目がどうしても踏み込めない。市にも貢献できない。何とか変えられないか。

副市長：一般競争入札が流れとなっており、工事がきちんと出来ることが求められます。公共工事も急激に減っており、今後の課題とさせていただきます。

参加者：来年、新規職員採用しないということだが、世の中では就職難の状況で採用しないというのは、子ども達の気持ちが悪くなる。資料から、職員の平均給与が800万になるが、他と比較すると800万円は決して低くないと思う。そういったことも踏まえ採用停止を再考してほしい。

市長：国の経済政策が回らないと雇用確保は進みません。職員数を他と比較すると、富士見市600数十名、ふじみ野市は平成21年度711名であり、パートを含めると1200人ほどになります。合併時の固定費が99.7%で県ワースト1、平成20年度が95.4%でワースト3の状態です。これまでは、退職者の2分の1を補充してきましたが、これでは間にあいません。健全な財政状態にしたいというのが私の思いです。

部長：一部誤解を招いているので説明させていただくと、本市における職員の平均年齢45歳で平均給料は約800万円。県内の市では、40市中24番目。新規職員の給料は約360万円です。

参加者：子ども優先の事業をするためには、職員の給料を下げるべきではないのか。

市長：公務員制度の改革がないと、極端にはできないが、そういった思いをもって改革を進めたいと思います。

参加者：来年、職員を採用しないという中、児童館が学童になり、NPO法人が運営するなど話を聞くが、対応する職員の数は減ってしまうのか。

市長：一元化して指定管理者制度とするように進めています。その指定管理者と市は協定を結ぶので、その協定に基づき指定管理者が人員を増すことは考えられません。

参加者：説明会があったが、おやつ代抜きで9000円となっていた。今までおやつ代だけから見ると負担増。また、夏休みだけは、無理といわれた。

市長：今のところ説明した方針でやっていきます。大井地域は下がり、上福地域は負担が増えるのは事実ですが、子ども1人当たり29,000円かかっています。12,000円払っている地域とゼロの地域があることをご理解いただきたいと思います。所得に応じて減免策は取っています。夏休みの件は、指定管理者の自主事業の中で取り入れることができると思っています。

参加者：8月ここで防災訓練を実施するが、さぎの森小4つの自治会がこの避難場所になっている。4つの自治会で自主的に訓練をやってきた。実際に災害の時はこの体育館で寝泊まりすることになる。工夫すれば、余裕教室に避難物資を置いてもらえれば、避難者の安心感にもつながる。

教育長：さぎの森小学校の児童数は、現在290名います。ここに細かい資料がないので、校長と相談したいと思います。

参加者：循環バスの当初のイメージと乗客数などは、どのような状況か。財政面から文化財に対する維持管理費について今後どのように考えるか。豪雨、水害で、雨水の吸い込みについて各地域で問題があるのでは。今後もっともっと重点的に取り組んでほしい。

市長：循環バスは、ある程度の周知期間が必要なので急激に客が増えることはないと思います。10月に調査を実施します。文化財は重要ですが、文化財を保管するためには施設が必要なので、財政を圧迫すると思います。水害の件は、当時と今のゲリラ豪雨で吸水口だけでは済まない状態です。市内各地で影響が出ていますが、地方だけは解決できない問題なので、国にも要望していききたいと思います。緊急連絡体制はできていて、緊急時の職員体制もできています。

参加者：職員の対応については、以前から比べると良くなったと思う。人件費につ

いても、それなりの給料がなければ、良い人材が集まらないし、良い発想もでない。それに見合った給料も必要と思う。

20:58 閉会